

平成29年度学校法人日本医科大学予算

去る平成29年3月28日(火)に開催された第725回定例理事会及び定例評議員会において、平成29年度学校法人日本医科大学の収支予算が承認・可決されました。

(法人本部 財務部)

平成29年度は、附属病院の後期工事も8月に完成し、11月から来年1月にかけてフルオープンすることを予定しています。そのため医療機器の購入など多額の投資が必要であり、また移転費用など一時的な経費も嵩むことが予想されます。一方、人件費は引き続き時間外勤務の削減に取り組みますが、平成28年度実績に比べると大幅な増加となる見込みであり、管理経費・医療経費等は引き続きできるだけ削減していく努力が必要です。平成29年度予算編成にあたっては上記の事項を加味して目標事業活動収支差額を0.8億円の黒字と定め、目標を達成するために必要な資源は投入することとし、事業計画達成に必要な経営資源は費用と効果を十分吟味した上で予算化することで進めてきました。

その結果、医療収入は765億円で平成28年度予算比12億円(1.6%)増加、教育活動収入合計は920億円で前年度予算比17億円(1.9%)増加の計画となりました。一方、支出では人件費は408億円で前年度予算比2億円の減少、医療経費は259億円で前年度予算比4億円の増加としました。教育活動支出合計は922億円で前年度予算比21億円(2.3%)の増加となります。教育活動収支差額は1.4億円の赤字となりますが、140周年記念募金等の獲得を強化することにより、教育活動外収支と特別収支を加えた事業活動収支差額は0.8億円の黒字予算としました。

今後、法人を取り巻く環境は、非常に厳しい中にあり、その中で教育・研究・診療の3分野で中長期的な展望を持って社会のニーズに応え、法人としての使命を実現していかなければなりません。そのためには、経営及び業務の合理化、透明化を十分に推進し、経営管理体制の構築を通じた財務基盤の安定化を図ることが必要不可欠です。本格的な準備がスタートした武蔵小杉再開発もこの実現に向けたステップです。これらを着実にかつ効率よく進めていくには、全部署が心をひとつにして業務・研究の遂行や一層の経費削減に努めることが求められます。

1. 資金収支予算

(単位:百万円)

区 分		H29予算
収 入	学生生徒等納付金収入	6,519
	手数料収入	322
	寄付金収入	1,061
	補助金収入	4,924
	資産売却収入	-
	補助活動収入	55
	付属事業収入	643
	受託事業収入	1,434
	医療収入	76,498
	受取利息・配当金収入	3
	雑収入	1,615
	その他の収入	15,896
	計	108,970
支 出	人件費支出	40,563
	教育研究経費支出	13,180
	医療経費支出	25,903
	管理経費支出	5,387
	借入金等利息支出	687
	施設関係支出	3,806
	設備関係支出	7,708
	資産運用支出	-
	予備費	100
	その他の支出	13,910
	計	111,244
経 常 収 支		△ 2,275
	借入金等収入	18,100
	借入金返済支出	15,563
財 務 収 支		2,537
総 合 収 支		262

* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

2. 事業活動収支予算

(単位:百万円)

【教育活動収支】

科 目	予 算 額
学生生徒等納付金	6,519
手数料	322
寄付金	701
補助金	4,300
補助活動収入	55
付属事業収入	643
受託事業収入	1,434
医療収入	76,498
雑収入	1,615
教育活動収入計	92,087
人件費	40,805
教育研究経費	19,804
（減価償却費）	(6,624)
医療経費	25,903
管理経費	5,651
（減価償却費）	(263)
徴収不能引当金繰入額等	68
教育活動支出計	92,230
教育活動収支差額	△ 144

【教育活動外収支】

科 目	予 算 額
受取利息・配当金収入	3
教育活動外収入計	3
借入金等利息	687
教育活動外支出計	687
教育活動外収支差額	△ 684
經常収支差額	△ 828

【特別収支】

科 目	予 算 額
資産売却差額	—
その他の特別収入	1,012
施設設備寄付金	360
施設設備補助金	592
地方公共団体施設設備補助金	32
現物寄付	28
過年度修正額	—
特別収入計	1,012
資産処分差額	4
その他特別支出	—
過年度修正額	—
特別支出計	4
特別収支差額	1,009
予備費	100
事業活動収支差額	81

* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。